

科目名		健康支援・高齢者支援看護学特論	
科目責任者	永松 有紀	(成人・老年看護学 教授)	
担当者	阿南 あゆみ	(成人・老年看護学 教授)	
担当者	室屋 和子	(成人・老年看護学 准教授)	
開講時期: 1年次前学期		単位数: 2 単位	時間数: 90分× 15 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 様々な健康レベルにある健康障害を持つ成人期・老年期にある人々とその家族の理解に活用できる主要な概念や看護実践に活用できる諸理論を学び、それらの概念や理論の看護の場での適用について探究する能力を養う。 行動目標 (SBOs) 1) 健康障害を持つ成人期にある人々とその家族の理解と看護実践の基盤となる概念および理論について説明できる 2) 老年期にある人々とその家族の理解と看護実践の基盤となる概念および理論について説明できる 3) 看護の場では会う現象や看護実践・研究における概念および理論の活用について考察できる			
● 評価方法	プレゼンテーション内容 60%、討議への参加度 20%、課題レポート 20%		
● 参考文献	必要に応じて紹介する。		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	授業ガイダンス 成人期にある人々の生活と健康課題	成人期にある人の健康課題、施策等の社会背景の理解	永松
2	老年期にある人々の生活と健康課題	高齢者の生活や健康課題に関係する法、施策等の社会背景の理解	室屋
3	成人期にある人々の生活と健康への支援 1	成人看護領域で用いられる概念、理論に関する知見を広め、自己の研究テーマとの関連を考える	永松
4	成人期にある人々の生活と健康への支援 2	成人看護領域で用いられる概念、理論に関する知見を広め、自己の研究テーマとの関連を考える	阿南
5	老年期にある人々の生活と健康への支援 1	老年看護領域で用いられる概念、理論に関する知見を広め、自己の研究テーマとの関連を考える	室屋
6	老年期にある人々の生活と健康への支援 2	老年看護領域で用いられる概念、理論に関する知見を広め、自己の研究テーマとの関連を考える	室屋
7	健康レベルに対応した看護	急性期看護における主要な概念と理論の理解	永松
8	健康レベルに対応した看護	慢性期における主要な概念と理論	阿南
9	健康レベルに対応した看護	セルフマネジメント支援	阿南
10	健康障害をもつ人への看護	がん看護における主要な概念と理論	永松
11	健康障害を持つ成人期にある人と家族への看護実践	看護実践・研究における概念および理論の活用 看護実践事例への適用の検討	永松
12	健康障害を持つ成人期にある人と家族への看護実践	看護実践・研究における概念および理論の活用 看護実践事例への適用の検討	永松
13	健康障害を持つ成人期・老年期にある人と家族への看護実践	看護実践・研究における概念および理論の活用 看護実践事例発表・検討	永松
14	健康障害を持つ成人期・老年期にある人と家族への看護実践	看護実践・研究における概念および理論の活用 看護実践事例発表・検討	永松
15	まとめ	科目で学んだ成人・老年看護領域で用いられる概念、理論を振り返り、自己の研究テーマとの関連付けを行う	永松